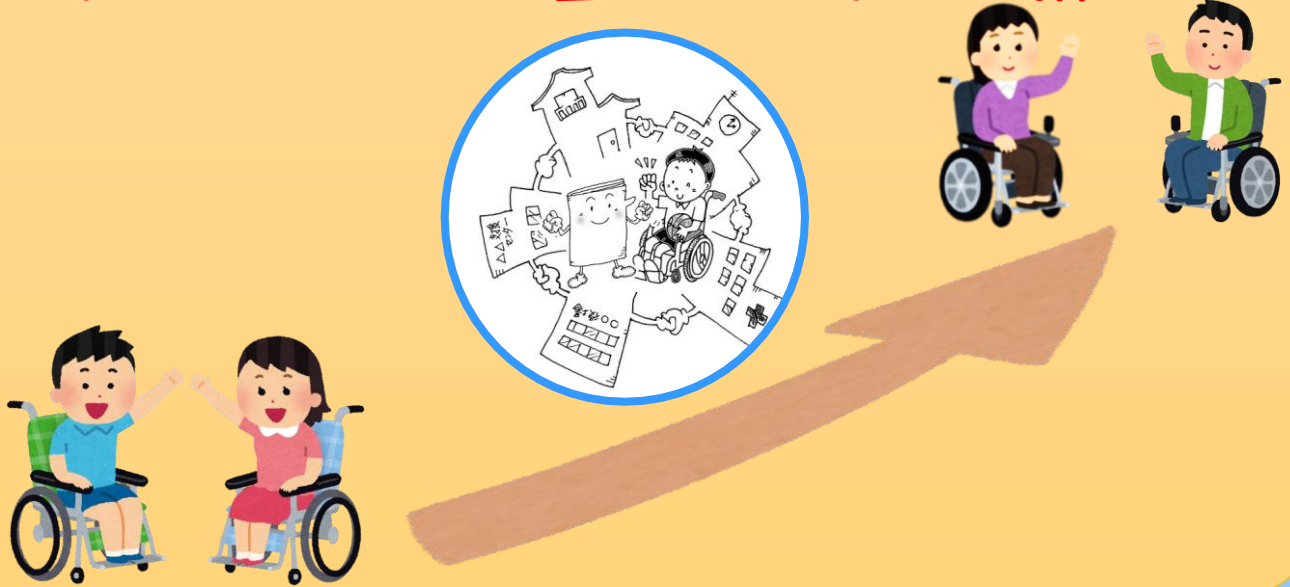


香川県立高松支援学校

個別の教育支援計画

子どもたちのより豊かな生活を目指して



個別の教育支援計画とは・・・

本人や保護者の希望を踏まえ、障害のある幼児児童生徒一人ひとりを関係機関（教育・医療・保健・福祉・労働等）が連携して効果的に支援するための計画です。個別の教育支援計画は、乳幼児期、学齢期、学校卒業後それぞれのライフステージにおいて、当事者に関する情報を支援機関で共有し、切れ目ない連携した支援を行うことを目的としています。

【香川県教育委員会「すべての教員のための特別支援教育ハンドブック」より】

学校と地域を繋ぎ、将来に繋がる
大切な計画書です。

A より豊かな生活をイメージして、教育的ニーズを整理するためのツール

B 連携のためのツール

C 必要な支援を引き継ぐためのツール



POINT①

A「より豊かな生活をイメージして、 教育的ニーズを整理するためのツール」



個別の教育支援計画を作成する前に、まずは本人・保護者・担任で「より豊かな生活」をイメージします。

そして、そのために必要な支援について、本人・保護者・担任が話し合いながら、個別の教育支援計画を作成します。



現在の願いや課題を知り、「より豊かな生活」の実現のために必要なこと（教育的ニーズ）を考えます。

本校様式：個別の教育支援計画 I

個別の教育支援計画 I	
〇〇部 〇年 高松 太郎	
香川県立高松支援学校	
作成者氏名 令和 年 月 日	
(困っていることなど) 現在の課題	本人 保護者
現在の生活の充実や将来のより豊かな生活の実現に向けての課題について記入します。	
(つきたい力など) 現在の願い	本人 保護者
より豊かな生活の実現に向けて取り組んでもらいたいことや、支援してほしいことを記入します。	
児童生徒のニーズを踏まえた長期支援目標	
教育的ニーズを踏まえた長期支援目標を記入します。	
連携する関係機関等(校内・校外)	連携の記録・履歴

本人や保護者の
現在の課題(困っていること)
現在の願い(つきたい力)
を明確にします。

教育的ニーズを考え、本人・保護者・担任で「より豊かな生活」のイメージを話し合います。



実現のために必要な
教育的ニーズを踏まえた長期支援目標
を立てます。

必要な連携機関を書き出し、
実際に行った連携の履歴を記入します。

教育的ニーズって？

子どもの「より豊かな生活」を実現するために、今、身につけておきたい力を教育的ニーズと言います。つまり、自立と社会参加を見据え、その時点でその子どもに最も必要な教育のことです。そこで、整理するポイントを以下の3点を参考とし、教育的ニーズの整理を行っています。

<整理するポイント>

- ①障がいの状態等の把握
- ②その子どもにとって特別に必要な指導内容
- ③合理的配慮を含む支援内容

【文部科学省「障害のある子供の教育支援の手引」より】

より豊かな生活

教育的なニーズ

本人の今の生活



POINT②

B「連携のためのツール」



子どもの「より豊かな生活」を実現するためには、学校だけでなく、広い視野で子どもの生活を把握し、支援していく必要があります。

校内の関係者や校外の関係機関と情報交換するだけでなく、それぞれの立場でできることを話し合い、役割分担するためのツールとしても個別の教育支援計画を使っています。

高松支援学校では、個別の教育支援計画を校内・校外の会議に持ち込み、校内・校外関係機関との連携ツールとして活用しています。

児童生徒を支援する関係者・機関が集まり、個別の教育支援計画をもとに、支援目標や支援内容について情報を共有します。そして、支援目標に対して、具体的に「誰が」「いつ」「何をするのか」といった支援の役割分担まで話し合います。

<校内における活用例>

- ・前期・学年末懇談会
- ・自立活動室との打合せ
- ・医療的ケア児の連絡会
- ・寄宿舎生の連絡会

<校外の関係機関を含む会議等での活用例>

- ・サービス担当者会議
- ・PT、OT、STなどのリハビリ見学
- ・現場実習や進路に関する会議
- ・ケース会議

**「より豊かな生活」の実現のために、
学校・家庭・関係機関が連携した具体的な計画を立てます。**

本校様式：個別の教育支援計画Ⅱ

個別の教育支援計画Ⅱ				
〇〇部 〇年 高松 太郎		香川県立高松支援学校 作成者氏名 _____ 令和 年 月 日		
短期支援目標	支援の内容			
	学校・家庭	担当	福祉・医療・労働等	機関名担当者名(年月日)
支援目標に対して、誰が、いつ、何をするのかを具体的に決めます。 個別の教育支援計画Ⅰの児童生徒のニーズを踏まえた長期支援目標に対応した短期支援目標を記入します。	学級、家庭での支援内容を保護者と話し合い、それぞれが行う手立てや配慮を記入します。 連携して支援を行う教科担任、自立活動室、寄宿舎、学校看護師等校内関係者が行う手立てや配慮を記入します。	家庭・学校担当者名	短期支援目標に対応した校外関係機関(放課後等デイサービス、ヘルパー、PT、OT等)の支援内容や配慮を記入します。	校外機関名・担当者名 支援等が決まった年月日
支援の評価・今後の課題・引継ぎ事項				
1. 短期支援目標に対して、支援の内容(手だて、配慮)を行ってどうだったかを記入します。 2. 短期支援目標に対して、校内関係者、校外関係機関の取組状況を記入します。 3. 次年度に引継ぐ取組内容を記入します。				

より豊かな生活を考えるヒント

「より豊かな生活」を考える際に大切なことは、将来を漠然とイメージするのではなく、〇年後の「より豊かな生活」について具体的に考えることです。小学部に入学したばかりの児童であれば、2、3年後の生活のイメージになりますし、高等部の生徒は、間近に迫った卒業後の生活を見据えたイメージになります。

また、以下の2つの視点を加えることで、より具体的な生活をイメージすることができます。

- ① 願いを実現する、または課題を解決することで、自分らしく輝ける生活ってどんな生活ですか？
- ② 自立や社会参加に向けて、本人の得意なことを活かして、どんなことができるようになるかとよいですか？

POINT③

C「必要な支援を引き継ぐためのツール」

毎年、新しく作成するのではなく、旧担任から引き継ぎ、支援内容を追加・更新し、さらに、次の担任に引き継いでいくものです。



支援計画の案を引き継ぐ



さっそく支援をスタート

連携に使い、
随時更新



1年の取組を
踏まえ次年度の
計画案を作成



次の担任へ
引き継ぐ

個別の教育支援計画作成・活用しての感想

■ 保護者の声

- ・ 漠然とした悩みを打ち明け、それを書面にすることで親としては安心感をもつことができました。
- ・ 個別の教育支援計画を介し、子どものためにみんなで支援を考え、今までの支援をより良いものに修正や追記してもらえるのは、とてもありがたいです。また新たに修正や追記した個別の教育支援計画を関係機関に配布することで、学校、家庭、福祉事業所が連携して支援を行うことができ、子どもにとってプラスになっていると感じています。

■ 関係機関の声

- ・ 毎日子どもと関わっている学校の情報は豊富で、内容も深くとても参考になります。サービス担当者会議で確認した支援内容や役割分担を、放課後等デイサービスのスタッフ間で共有しています。活動の中に、学校での学習や身体のケアを取り入れるようになりました。
- ・ 卒業後も、家庭と事業所で学校からもらった情報を継続して取り組むことができます。

■ 教員の声

- ・ 成長とともに本人の身体や学習内容は変わっているので、年度初めに立てた支援目標や支援内容については、サービス担当者会議をきっかけに、修正して最新の支援内容になるようにしています。
- ・ 学校の関係者間で、個別の教育支援計画の支援目標や支援内容の情報を共有することで、各教科の担当の先生も同じように取組を行ってもらうことができ、課題であった行動が解消されました。

個別の教育支援計画の様式

個別の教育支援計画の様式、具体的な記入方法や年間スケジュールなどを高松支援学校のホームページ「からだと学びの相談センター」に載せています。

また、個別の教育支援計画の様式をダウンロードすることができます。ぜひ、ご活用ください。



香川県立高松支援学校ホームページ

<https://www.kagawa-edu.jp/takayo02/>

個別の教育支援計画を作成するにあたり、子どもの基礎情報を収集するための調査票があります。
(本校様式：調査票①②)

調査票①		月 日 年 月 日
氏名	性別	
生年月日	学年	
住所	電話番号	
家族構成	兄弟姉妹	
アレルギー	既往歴	
現在受けている治療	現在受けている療育	
子どもの基礎情報		
発達	学習	
身体	生活	
社会性	コミュニケーション	
その他		

調査票②	
医療機関	福祉機関
療育機関	その他
医療・福祉・労働関係等の関係機関の一覧	
機関名	連絡先
機関名	連絡先
機関名	連絡先
機関名	連絡先
機関名	連絡先
機関名	連絡先
機関名	連絡先
機関名	連絡先
機関名	連絡先
機関名	連絡先

「からだと学びの相談センター」

「からだと学びの相談センター」(担当：支援教育部)では、個別の教育支援計画についてのご相談を随時お受けしてしています。

例えば……

- ・ 個別の教育支援計画の立て方、活用の仕方について教えてほしい。
- ・ 自分なりに作成してみたけど、足りない視点や内容がないか、アドバイスしてもらいたい。

香川県立高松支援学校

〒761-8057 香川県高松市田村町1098番地1

TEL:087-865-4500

Email:taka-s01@kagawa-edu.jp